

家電製品協会認定センター



西崎センター長

家電製品協会（家製協）の認定センター（西崎義信センター長）では、流通の第一線で活躍する人材育成を目指し、01年度にスタートした「家電製品アドバイザー」と「家電製品エンジニア」、16年度から実施しているスマートハウス普及促進の人材育成が目的の「スマートマスター」の3資格制度を企画・運営。試験は、3月と9月の年2回実施している。

流通第一線で活躍する人材育成

家電製品アドバイザー／家電製品エンジニア／スマートマスター

3月と9月年2回の試験を実施

認定証
スマートマスター SMART MASTER

交付 20XX年11月01日
有効期限 20XX年10月31日
登録番号 第S160000001号
氏名 家電 太郎
一般財団法人 家電製品協会
TEL 03-6341-5809

認定証
家電製品総合エンジニア Platinum

交付 20XX年11月01日
Platinum取得日 20XX年11月01日
有効期限 20XX年10月31日
登録番号 第E000000000P号
AV情報家電 第E000000000P号
生活家電 第E000000000P号
氏名 家電 太郎
一般財団法人 家電製品協会
TEL 03-6341-5809

認定証
家電製品アドバイザー Gold

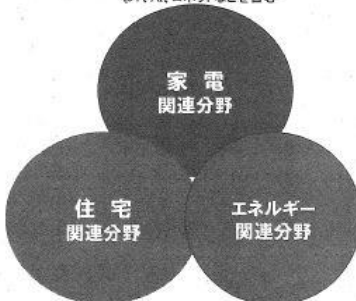
交付 20XX年11月01日
Gold取得日 20XX年11月01日
有効期限 20XX年10月31日
登録番号 第A000000000P号
AV情報家電 第A000000000P号
氏名 家電 花子
一般財団法人 家電製品協会
TEL 03-6341-5809

3資格の認定証

3月期受験申請受け付けが始まる
21年3月期の第40回試験は、昨年9月期から導入された「CBT（Computer Based Testing）方式試験」で3月14日に実施される。受験申請の受付期間は、1日前午10時から22日午後11時59分まで。申請受け付けと受験案内は、家製協認定センターのホームページ（<https://www.aaha.or.jp/printei-center/procedure/examination/>）で行っている。資格更新の申請受け付けも開始。

スマートハウスの普及には三つの分野の連携が不可欠

IoT、AI、ロボットなどを含む



リフォーム・リノベーション、建材などを含む
太陽光・風力・水素などの新エネルギー、VPPなどを含む

（出所：家電製品協会）

受験機会が拡大したCBT方式
従来は全国統一試験として、全国延べ約50の大

家電製品アドバイザー資格と同エンジニア資格の内容

	1.アドバイザー		2.エンジニア	
資格の区分	1)AV情報家電	2)生活家電	1)AV情報家電	2)生活家電
試験科目	①商品知識・取扱		①基礎技術	①基礎技術
	②CS・関連法規(共通)		②応用技術	②応用技術

注)アドバイザー試験のCS・関連法規は両資格共通の試験

補足)総合資格とは、アドバイザー、エンジニア共に上記資格区分、1)、2)の両方取得したものに付与される

規模会場で実施されたが、CBT方式は全国約2800カ所ある試験会場（テストセンター）を活用



写真1 テストセンター内のPCブース

「家電製品アドバイザー」参考問題集に収録されている。

用。受験者の都合に合わせる。受験地や受験日時を選べる。試験会場は全国各地の交通の便の良い場所に配置され、受験者の利便性が高い。
受験室は写真1のような隔離された環境で、受験指示も全てPC画面上で行われるため、3密が回避できる。
社会のニーズが高まる3資格制度
西崎センター長は「新タイプのコロナ感染症拡大で暮らしては大きく変化している。時代はDX化の波が押し寄せ、IoTやAI、ビッグデータ、ロボット、5Gなどの新技術が台頭し、かつてない速度で変化している。新たな日常に対応し、躍動できる人材育成に適した最先端のカリキュラムで構成された3資格制度の受験者は、家電業界にとどまらず情報通信など隣接産業にも広がっている」という。3資格の概要を表と図に示す。技術進化に合わせて毎年更新されるカリキュラムは「スマートマスター問題集」「家電製品アドバイザー参考問題集」「家電製品エンジニア参考問題集」に収録されている。